

平成 26 年 12 月 21 日

南の風 96

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

95号でオールジャパンについて書きましたが、男子の組み合わせの中に、bjリーグのチームの名前がないのは少し寂しい気がしました。本当の意味での**オールジャパン**になってほしいものです。bjリーグの現在の成績を書きます。

《イースタンカンファレンス》

1位	岩手ビッグブルズ	20勝2敗
2位	秋田ノーザンハピネッツ	19勝4敗
3位	仙台89ERS	16勝6敗
4位	富山グラウジーズ	15勝7敗

《ウエスタンカンファレンス》

1位	京都ハンナリーズ	19勝3敗
2位	浜松・東三河フェニックス	17勝3敗
3位	琉球ゴールデンキングス	17勝3敗
4位	滋賀レイクスターズ	11勝5敗

因みに、横浜ビー・コルセアーズは4勝11敗でイースタンの10位です。横浜は一昨年、プレイオフを制して優勝しています。がんばってほしいものです。昨年のプレイオフは、沖縄（琉球ゴールデンキングス）が優勝しています。沖縄は2連覇がかけられます。

bjリーグのプレイオフの日程は下記の通りです。

- ①プレイオフファーストラウンド 5月の1週目
- ②カンファレンスセミファイナル 5月の2週目
- ③カンファレンスファイナル 5月の3or4週目
- ④ファイナル 5月の3or4週目

bjリーグのゲームもぜひご観戦ください。

さて話は変わりますが、今年度もサザンクロス連盟の力添えをいただいて、DVDパートⅢを作成します。今回は、ボールのもらい方とシュート、2対2（パッシングランの合わせ、ポストの合わせ、スクリーンプレーの基本）、エントリーの仕方とオフENSEの始め方、オフENSEにおけるスペースの作り方を紹介する予定です。若干の変更はあるかもしれませんが、過去2回作成したものが、皆さんのお役に立ったかはわかりませんが、いろいろなカテゴリーの指導者の方から反響があったことは事実です。

今回、上述のような内容にしたのは、南の風の読者の方のご意見が多かったからです。その中で、スクリーンについては賛否が分かれまして。特にミニバスの指導者の中には、「ミニバスにはスクリーンプレーは必要ない」という考えの方もいました。いろいろな意見が出ることは大事なことです。また、選手の成長段階や実態を考えて、何を優先して指導すべきなのかということを探っていくことも大切です。

私は、正しいスクリーンの掛け方を指導することは怪我の防止にもつながると考えます。例えば、不用意に距離を詰めてバックスクリーンに行くと、ディフェンスと接触して思わぬ怪我に繋がることがあるからです。また、スクリーンを自分のチームは使わないとしても、相手がやってくる可能性があります。その時の対処の仕方を、選手に指導しておくことは大切だと思います。そのために、スクリーンプレーの経験は意義があります。最後に、スクリーンプレーはたいへん合理的なプレーですから、判断力（スクリーンを利用するかしないかなど）を養うためにはもってこいのプレーだと言えます。